

2021年 第31週（8月2日～8月8日）の感染症発生動向調査情報を送付します

<今週の内容>

- 1 管内の発生状況
- 2 発生から見る注意点
 - 1) RSウイルス感染症の発生が増加しています
 - 2) ダニ媒介感染症に注意しましょう
- 3 新型コロナウイルス感染症について
 - 1) 第5波 まん延防止徹底！
 - 2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」
- 4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

1 管内の発生状況

- 1) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）（報告のあった全疾患）

(表1)

	疾患名	定点当たり患者数			増減 (今週-先週)
		今週	先週	先々週	
1位	RSウイルス感染症	11.00	6.50	3.00	+4.50
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.00	0.00	+0.50
2位	水痘	0.50	0.00	0.50	+0.50
2位	突発性発疹	0.50	0.50	1.50	0.00

2 発生から見る注意点

- 1) RSウイルス感染症の発生が増加しています

県の定点あたり患者数は今週4.68人（先週6.35人）で、3週連続で減少していますが依然として多い状況が継続しています。管内は11.00人（先週6.50人）と増加しています。直近の5週間に県内の定点医療機関から報告された患者4,569人の年齢分布では、1歳27%、2歳23%、3歳18%の順で多く、2021年は過去5年間と比較して、1歳以下の占める割合が減少し、2歳、3歳、4歳以上のそれぞれの割合が増加しています。

RSウイルスを病原体とする呼吸器感染症で、2歳までにほぼ全員が感染しますが、その後も感染を繰り返します。乳幼児の肺炎及び気管支炎の重要な原因となっていて、特に心肺等に基礎疾患があると重症化しやすいといわれています。手洗いやうがいを徹底し、乳幼児が呼吸器症状を示した場合は早めに医療機関を受診することが重要です。

- 2) ダニ媒介感染症に注意しましょう

ダニ媒介感染症

病名	日本紅斑熱	つつが虫病	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
病原体	日本紅斑熱リケッチア	つつが虫病リケッチア	SFTSウイルス
媒介ダニ	マダニ	ツツガムシの幼虫	マダニ
潜伏期間	2～8日	5～14日	6～14日
症状	発熱・発疹・刺し口重症化することあり		発熱・消化器症状重症化することあり

ダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。

草むらや藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、虫除け剤を使用し、長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大切です。

また、屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認して下さい。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などがポイントです。

マダニに咬まれたら、無理に引き抜こうとせず、皮膚科など医療機関で処置をしてもらいましょう。

ダニ媒介感染症(厚生労働省ホームページ)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

3 新型コロナウイルス感染症について

兵庫県内では、第31週は2,913人（先週1,779人）の新型コロナウイルス新規感染者で、1.6倍となり、感染の急拡大が継続しています。特に30歳代以下が全体の64%を占めています。

また、今回の「第5波」と「第4波」前半の感染者の年齢階級別割合を比較すると、「第5波」では、高齢者の割合が減少し若い世代の割合が増加しています。

自分自身や大切な人の命を守るために、引き続き感染防止対策を徹底し、マスクの着用、手洗いや手指消毒、3密の回避等、一人ひとりが「うつらない・うつさない」との強い思いで取り組むことが大切です。

1) 第5波 まん延防止徹底！

兵庫県は8月16日よりまん延防止等重点実施区域が拡大（但馬地域を除く地域）されました。（措置期間:8月16日(月)～8月31日(金)）

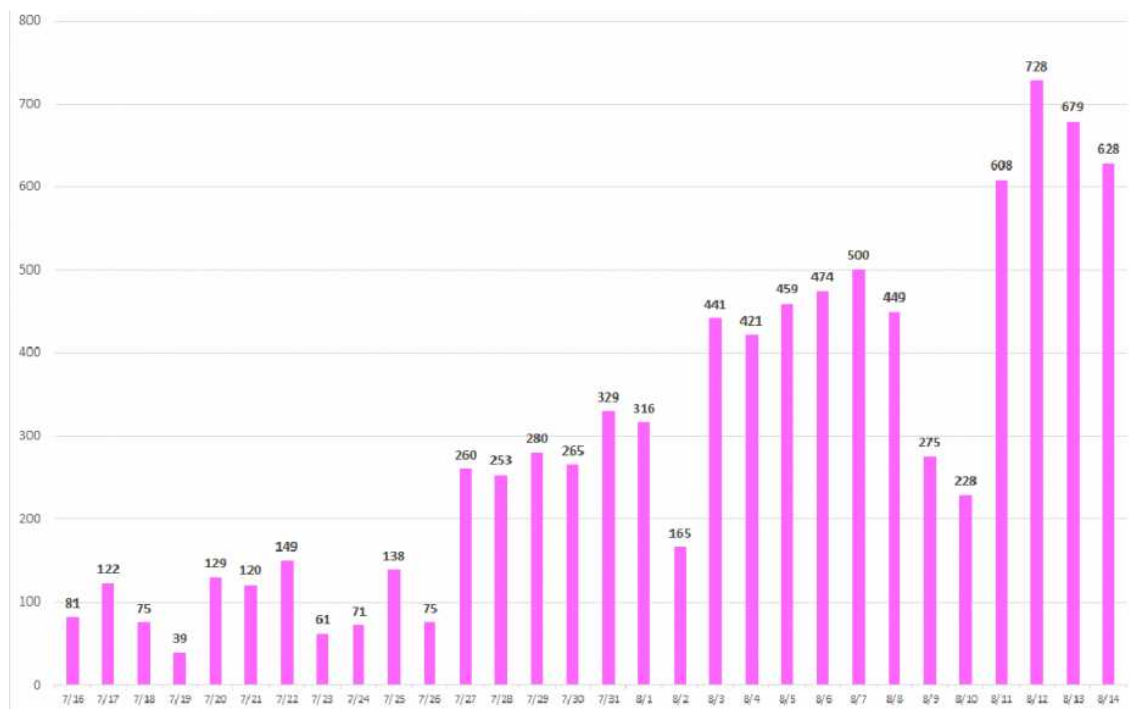
新型コロナウイルスの感染が急拡大しています。夏休みに入り、家族や友人と久しぶりに会う機会ですが、この夏は旅行、帰省、同窓会などできるだけ控えてください。

一日も早い感染収束に向けて、絶対に感染を再拡大させないという強い思いのもと、感染対策の徹底をお願いします。

【直近1週間平均患者数】

	8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15
新規陽性者数:1週間平均(人)	431.3	400.9	427.6	466.0	495.3	513.6	523.3
重症者用病床の使用率(%)	21.8	26.0	26.0	27.4	28.1	26.7	-

【直近1ヶ月の陽性件数の推移（7/16～8/14）】



兵庫県内の新型コロナウイルスに感染した患者の発生状況

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/corona_hassei_jyokyo.html

皆様へのお願い

(1) 外出の自粛

- ・夏休みなど、東京や大阪等の感染拡大地域との往来や県境を越えた不要不急の往来は自粛してください。
- ・路上・公園での飲酒・友人・グループによる宅飲みなど感染リスクの高い行動はやめてください。

(2) 家庭内での感染対策

- ・会食の自粛やマスク着用、手洗い、消毒、換気などの感染対策を徹底し「ウイルスを家庭に持ち込まない、ウイルスを家庭内外に広げない」行動を徹底してください。
- ・帰宅後の手洗い、室内喚起の実施、毎日の検温、家族の健康管理を行い、発熱などの症状が出た場合はかかりつけ医に相談してください。
- ・部活動やサークル活動などの際には、熱中症に注意しながら、会話の際のマスクの着用など感染対策を徹底してください。

(3) ワクチン接種の推進

- ・市でのワクチン接種や県での大規模接種などへの積極的な参加をお願いします。
- ・ワクチン接種後も引き続き、マスクの着用、手洗い、人と人の距離の確保など基本となる対策の徹底をお願いします。

(4) 事業所・施設等での対策の徹底

- ・従業員等の体調管理、マスクの着用、換気、消毒液の設置など感染防止対策の徹底、テレワーク等の推進をお願いします。

感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）



(兵庫県) 新型コロナウイルス感染症の対応について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/200129.html>

新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」の推進

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/hyogo-style.html>

2) 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口及び「発熱等受診・相談センター」

時間	機関	電話番号
平日 9 : 00~17 : 30	朝来健康福祉事務所	079-672-0555
平日・休日 24 時間	新型コロナ健康相談コールセンター	078-362-9980

新型コロナウイルス感染症に関する情報については、以下のホームページ等で随時更新されています。

1 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

2 国立感染症研究所 新型コロナウイルスに関連する情報

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-corona/9305-corona.html>

3 兵庫県新型コロナウイルス感染症について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/singatakorona.html>

4 新型コロナウイルスの対応について

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk03/200129.html>

4 HIV・エイズ、B型・C型肝炎、梅毒検査の実施について

<問合せ先・予約先>朝来健康福祉事務所

電 話 079-672-0555

ホームページ <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk08/asagoeizukensa.html>

メー ル asagohokensho-aids@pref.hyogo.lg.jp

実 施 日 8・9月実施日 8月19日(木)、9月2日(木)、9月16日(木)